

正副理事長が留任 広島県鉄構工業会(組合員80社)



広島県鉄構工業会(理事長 山本泰徳・副理事長 ステントス)は5月24日、広島市南区のホテルグランヴィアで通常総会を開催、任期満了に伴う役員人事で山本理事長と副理事長3氏の留任を決めた。

「努力する」という認識のもと、①人材の確保・育成②鉄骨の技術開発を含めた最新技術取得と普及③青年部のさらなる活性化④ファブの社会的認知・地位の向上⑤支部会活動の一層の充実——の5項目を重点とする事業計画案を承認した。

最優先事項の人材確保では業界PRを進めるとともに、女性を含めた幅広い人材が活躍できる場であることを広く認知させていく。

青年部については事業を継続支援し、鉄骨製作部会など関連団体、他県青年部との交流促進を通じて次世代の人材育成を進める。

議事では「十分な情報収集に基づく行動を実施し、適正な価格と利益の確保に

を

